

## グローバルビジネスコース (GBC) の活動実施状況

令和5年4月に開設から5年目を迎えたGBCでは、一般入試による4月入学者52名が5期生として入学し、4月6日に神戸国際会館で行われた兵庫県立大学入学宣誓式に参加しました。

また、9月には新たに留学生37名が入学し、9月19日にGBC秋季入学式に参加しました。

現在、GBCに在籍している留学生は21カ国・1地域から計152人となっています。男女別留学生数を見てみると男子学生69名、女子学生83名です。地域別では、アジアからの留学生が占める割合が高い傾向にあります。

### GBC留学生の概要

GBC留学生在籍者数 (2023年11月現在)

国・地域名	2019年9月入学	2020年9月入学	2021年9月入学	2022年9月入学	2023年9月入学
	在籍者数	在籍者数	在籍者数	在籍者数	在籍者数
バングラデシュ			1		
ベラルーシ			1		1
カンボジア			1		1
中国		2			1
インド		1	4		1
インドネシア		6	5	11	7
マレーシア		2	1		1
メキシコ			1		
モンゴル			2	2	8
パキスタン		1	3	1	
フィリピン		1			
ルーマニア			3	2	
タイ	4	4	10	9	4
トルコ	1			1	2
ベトナム		6	7	7	8
ザンビア		1		1	
ジンバブエ			1		
台湾		4	3	2	2
中国(香港)					1
カザフスタン				1	
モザンビーク				1	
リトアニア				1	
計	5	28	43	39	37

※地域別留学生数及び割合：アジア（東南アジア95名（62.5%）、東アジアは27人（17.8%）、南アジア12人（7.9%）、中央アジア5人（3.3%））、アジア以外ではヨーロッパ8人（5.3%）、アフリカ4人（2.6%）及び北アメリカ1人です。

### 式典関連

#### (1) 2023年兵庫県立大学秋季学位記授与式

9月15日、神戸商科キャンパスで秋季学位記授与式が実施され、2019年9月入学のGBC第1期留学生を含む44名の学士課程の卒業生が出席しました。この4年間、家族や母国を離れて勉学に励む一方で、文化や環境の違い、新型コロナウイルス感染症のパンデミックなど予期しない出来事に直面しましたが、無事卒業式を迎えられたことはこの上ない喜びです。

卒業生が日本と世界の架け橋となり、グローバル社会で活躍することを心から祈っています。



## (2) 2023年秋季卒業祝賀会



学位記授与式後、キャンパスのカフェテリアで第1期GBC卒業生の卒業祝賀会が行われました。祝賀会では、GBC在校生と卒業生によるパフォーマンスが行われたほか、ゼミ毎に卒業生から指導教員へ感謝の気持ちを伝えるメッセージカードを渡されるなど、心温まるひと時となりました。

## (3) 2023年秋季入学式

9月19日、「2023年度秋季入学式」が実施され、GBC（学部）、DGB（大学院）の新入生を迎えました。学長の式辞に続いて、兵庫県知事から祝辞をいただいたほか、領事館からの来賓の方々や、GBCにご厚意をいただいている企業の方々にもご出席いただき、思い出深い式典となりました。



## 授業関連

### 1) 日本文化体験

#### ① 和菓子関連授業

5月19日、和菓子の製造、販売などについて学ぶため、兵庫県洋菓子協会に所属する和菓子職人6名による授業が行われ、GBC留学生たちはピンク色の桜と淡いオレンジ色の菊の花の2種類の和菓子作りについて学びました。

また、6月16日には、主要な観光地周辺での和菓子の販売とマーケティングのプロセスについて学ぶ授業が行われました。GBC留学生たちは、姫路城近くの土産物店を訪れ、店頭に並べられた数種類の和菓子や、客層、販売方法などを調査しました。また、6月30日にも、三田市などの和菓子店舗を訪問し、老舗の商品の製造や販売について調査しました。

#### ② 宿泊研修

7月15日、16日の2日間、初めての宿泊研修が行われ、「SPring-8」、「西はりま天文台」、「兵庫県立人と自然の博物館」を訪れました。

一日目の午前、播磨科学公園都市にある世界5大放射光施設（ビームエネルギー5GeV）の一つであるSPring-8とSACLAを見学しました。学生たちはシンクロトロン放射光棟のショールームと外部施設のビームラインを見学しながら研究者の説明に熱心に耳を傾けていました。

午後は西はりま天文台を訪れ、天文学の講義を受けた後、「なゆた望遠鏡」で星や太陽を観察しました。天文台での宿泊はとても興奮した様子でした。

二日目は、兵庫県立人と自然の博物館を訪れ、人と自然の関係、地球の変化、地球上の生物の進化などについて学びました。



## 2) フィリピン海外語学研修



GBCのカリキュラムの一環として4月入学の日本人学生向けに、学内における8週間の英語集中講義及び8月から9月にかけてフィリピンのエンデラン大学で5週間の海外英語研修が実施されました。8月20日に大阪からマニラに到着した学生たちは、オリエンテーションからスタートし、毎日英語漬けの中でアカデミックな英語力を、異文化に触れることで異文化理解力や適応力を、学生寮での生活を通して社会性や協調性を身につけました。

## 留学生就職関連

4月19日に、神戸大学で開催された留学生のための「グローバル・ジョブ・フェア」に、GBC留学生3年生と4年生計10名が参加しました。フェアには様々な分野の企業が参加し、留学生たちは企業説明を真剣な眼差しで聞いていました。

また、6月21日には兵庫県と神戸市が合同で開催した就職説明会にGBC留学生13名が参加しました。参加企業は61社で、兵庫県内最大級の留学生向け就職フェアでした。

フェアには兵庫県知事にもお越しいただき、GBC留学生たちは、「就職活動の状況やどんな産業に興味があるか」など、知事からの様々な質問に緊張した面持ちで答えていました。



## イベント関連

立命館アジア太平洋大学（APU）主催、HSBCグループ後援で開催されたJBCC（ジャパン・ビジネス・ケース・コンペティション）2023において、GBCの学生たちがプレゼンテーションを行いました。

国際商経学部異准教授がコーチを務めるチーム「ゴールドensprouト（Golden Sprout）」が、全国約50チームの中からベスト16に入り、準決勝に進出しました。準決勝では、兵庫県立大学唯一のチームとして、一橋大学、東北大学、名古屋大学、慶應義塾大学、中央大学、APUなど、日本のトップクラスの国公立大学のチームと対戦しました。

参加者は、企業が直面する現実世界の課題を分析し、限られた時間内に創造的かつ実現可能な解決策を提案することを競い合いました。ゴールドensprouトのメンバーは、GBCの学生による最初のチャレンジとして、優れたチームワークを発揮し、競争率の高いこのイベントにおいて、素晴らしい成果を収めました。

その他、大学が行っているGBC学生が参加した主なイベント

名称	開催日	内容
クリーンアップイベント	5月25日	街路の清掃など、キャンパス周辺のコミュニティへの貢献
ヴィーガン&ハラール料理イベント	6月15日	異文化理解や、ヴィーガン&ハラールを理解する目的で、インドネシアのプブル・スムスム、ビジ・サラク、カザフスタンのピロシキの3種類のお菓子を製作
学生交流会（夏季）	6月22日	国際学生寮で暮らしている学生を中心に、学生間の親睦を図るために年2回開催しているイベントの1つ。イベントではクイズやビンゴゲームのほか、歌や楽器演奏に自信のある寮生がパフォーマンスを披露
兵庫高校International Day留学生交流会	9月29日	高校生の国際意識の高揚に貢献する機会として、兵庫高校の生徒37名とGBC留学生15名が、好きな音楽、エンターテインメント、ユニークな先生、社会問題、環境問題等、様々なテーマで多文化交流するイベント